

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

【様式集】

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 10 月 22 日 (17 : 30~19 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 13 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	6 人	6 人	0 人	1 人	13 人

前回の改善計画
利用者とその家族に早く職員の顔と名前を理解していただき、良好な関係づくりをするために、職員の写真付きのプロフィールを利用開始時にお渡しする
前回の改善計画に対する取組み結果
職員の顔写真付きのプロフィールを作成し、玄関先に置き、来所時に職員の顔と名前がわかりやすいように配慮したが、利用開始時にお渡しすることはできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	7	6	0	0	13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3	9	1	0	13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	6	6	1	0	13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	4	7	1	1	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・職員の顔写真入りのプロフィールを作成し、玄関の下駄箱に見えるように置き、新規利用者に職員の顔と名前が分かりやすいように配慮した。 ・新規利用者の情報については、ケアマネジャーが作成した基本情報を読み込むだけでなく、職員会等で情報の共有を行っている。 ・見学に来られた時には、笑顔で挨拶し不安が少しでも和らぐように気をつけている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・職員の顔写真入りのプロフィールを作成したが、利用開始時に本人や家族にお渡しはできなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
新規利用者が事業所の職員や雰囲気にも早く慣れ、安心して過ごせるように、新規契約時に、職員の写真入りプロフィールをお渡しする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 10 月 22 日 (17 : 30～19 : 30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 13 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	6 人	5 人	1 人	13 人

前回の改善計画
利用者や家族に対して意向調査 (アンケート) を実施し、それぞれの意向に合わせた個別支援計画を作成し実践する。
前回の改善計画に対する取組み結果
利用者の担当職員が、それぞれ意向確認をしながら企画をしたり、ケアマネジャーと相談しながら個別支援計画を作成し実践した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	4	5	3	1	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	5	4	3	1	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2	4	7	0	13
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	5	5	1	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・担当利用者については以前と比べて職員一人ひとりが責任を持って利用者に向き合い、目標達成に向けて考えられるようになってきた。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・担当の利用者以外で気になった言動 (～へ行ってみたいや～してみたい) を担当者に伝えたりすることが十分できていない。記録に残すこともあまりできていない。 ・日々の業務の忙しさから、利用者と関わる時間が思うように取れていない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	・日々の業務の効率化を図りながら、利用者一人ひとりの思い (希望) に寄り添える時間を確保する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 10 月 22 日 (17 : 30~19 : 30)

3. 日常生活の支援

メンバー 13 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6 人	6 人	1 人	0 人	13 人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者情報の共有については書面での申し送りだけでなく、写真や動画の活用を継続する。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	2	1	8	2	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	7	5	0	1	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	8	4	1	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5	7	0	1	13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	5	4	1	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 荷物の点検にも写真を活用し忘れ物が減少してきている。また、利用者の介助方法について動画に撮り情報の共有と統一した介助方法の徹底に努めた。 体調は認知症状の変化が見られた場合は、主治医に相談し内服薬の調整や今後の支援内容について相談している。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 体調の変化等については、速やかに看護師やケアマネに相談している。一方で利用者からの気になる言動については、記録に残せてなく、情報の共有ができていないことがある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 職員間での情報の共有を徹底するために、利用者の気になる言動についてはしっかりと記録に残し、ケース記録や日報を確認する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 10 月 22 日 (17 : 30～19 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 13 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	5 人	6 人	1 人	13 人

前回の改善計画	訪問記録に限らず、ケース記録に必要な情報や記録の方法についての勉強会を開催する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・どのような記録を残す必要があるか職員会で話し合いを行った。また、リーダー研修を受講した職員が記録の書き方についてもアドバイスをを行い、内容に変化が見られた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	6	4	1	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	6	4	1	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	4	7	2	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	2	2	3	6	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者とその家族の関係性や生活スタイルについては、基本情報を読み込んだり、ミーティングで情報共有しながら理解できていると思う。 ・利用者との関係性の構築は当然であるが、自宅に訪問したり送迎の時に、ご家族とも話しを行いながら良好な関係作りを意識している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者が生活している地域にどのような社会資源があるのか理解できていない。(業務上、民生委員さんと関わる職員は一部であり交流する機会が少ない)	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・自宅での生活を継続していくために、自宅での過ごし方をしっかり把握しながら、事業所での関わり方や援助方法を検討していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 10 月 22 日 (17 : 30～19 : 30)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	13 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	3 人	7 人	3 人	0 人	13 人

前回の改善計画	利用者本人の力、家族の介護力に応じて柔軟に「通い」「泊まり」「宿泊」サービスの提供を図るだけでなく、近隣住民や地域資源を活用した支援体制作りを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者の状態の変化や生活スタイルの変化に合わせてながら柔軟にサービスの調整を行い、また必要に応じて入所施設への移行も行った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	3	5	4	1	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	9	2	2	0	13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	4	7	2	0	13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	7	5	0	1	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・利用者の状態の変化だけでなく、家族の状況や生活スタイルの変化に応じて「通い」「訪問」「泊まり」を柔軟に活用することができた。回数の調整だけでなく支援内容についても柔軟に行う事ができた。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・事業所としては柔軟に利用者の支援ができていると思うが、地域の社会資源をどう活用したら良いのか分からないし、どのような資源があるのかを知らない。 ・以前と比べると、いつもと違う利用者の言動などについて記録できるようになったと思うが、十分とは言えないので意識したい。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) ・利用者の状態変化だけでなく、家族の生活スタイルに合わせてサービス内容の変更や利用回数の調整を行い、自宅で安心して過ごせるよう支援する。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 10 月 22 日 (17 : 30~19 : 30)

6. 連携・協働

メンバー 13 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	4 人	6 人	2 人	1 人	13 人

前回の改善計画	地域活動が再開してきているため、GH 里山やオレンジハウスなど法人内の事業所との交流機会を増やすだけでなく、地域行事や地域作りに関する取り組み (イベント) に職員が順番に参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	法人内の事業所とは地域行事 (お祭り) や敬老の日のイベントで交流することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	1	1	1	10	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	0	0	11	13
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	3	6	0	4	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	6	1	5	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・認知症カフェを開催し、認知症の当事者やその家族と交流しながら地域での支援体制づくりを行った。・近隣の施設と合同で、災害を想定した防災訓練を実施し、災害時の協力体制づくりを継続して行った。・秋祭りでは、地域の子供たちが来所し、獅子舞を披露してくれ、利用者は喜んでた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・サービス機関とのカンファレンスにはケアマネジャーや看護師は参加するが、介護職員は業務上参加する機会が少ない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・GH 里山やオレンジハウスなど法人内の事業所との交流機会を増やすだけでなく、地域行事や地域作りに関する取り組み (イベント) に職員が順番に参加する。(継続)	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 10 月 22 日 (17 : 30~19 : 30)

7. 運営

メンバー 13 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	6 人	1 人	3 人	13 人

前回の改善計画
日常の利用者支援だけでは地域の方々と交流する機会が多く持てないため、認知症カフェや合同防災訓練、運営推進会議には職員が順番に参加し意見交換を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果
認知症カフェや運営推進会議には職員が順番で参加したが、全員の参加はできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	1	3	4	5	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	7	4	1	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	5	3	5	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	5	4	3	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・以前は利用者の荷物の忘れ物が多かったが、来所時に荷物の写真を撮り、帰宅時に確認することでミスが少なくなった。 ・利用者や家族から苦情のないように努めているが、意見や要望があれば対応が可能な検討している。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・送迎時に家族と何気ない話をした際に、職員間で情報共有したり、管理者やケアマネジャーに報告ができていないことがある。(家族は里山の職員に話したので、管理者やケアマネジャーに伝わっていないことでその後、トラブルになる可能性がある。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	・利用者は家族からの小さな意見や要望をしっかりと受け止め、提供するサービスの質の向上を図る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 10 月 22 日 (17 : 30~19 : 30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 13 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	4 人	4 人	5 人	13 人

前回の改善計画
ヒヤリハット報告書を管理者と提出者で共有するだけでなく全職員に周知しながら未然に事故を予防しリスクマネジメント力の向上と底上げを図る。
前回の改善計画に対する取組み結果
ヒヤリハット報告書や事故報告書を職員間で共有することで、対応の優先順位を考えることができるようになり、リスクマネジメントについて意識できる職員が増えた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	3	6	1	3	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	3	5	2	13
③	地域連絡会に参加していますか	1	1	0	11	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	5	6	2	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・毎月の職員会議の中で、スキルアップ研修を行っている。外部の研修についても昨年と比べると参加率も上がった。 ・リーダー研修を受講し、事業所職員にも協力してもらいながら職員が抱える課題や事業所としての課題解決に取り組んだ。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・大きな事故と未然に防ぐためにヒヤリハット報告書の提出と情報の共有が必要であるが、業務に追われて、書けていないことがある。 ・

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	・ヒヤリハット報告書を管理者と提出者で共有するだけでなく全職員に周知しながら未然に事故を予防しリスクマネジメント力の向上と底上げを図る。(継続)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 10 月 22 日 (17 : 30～19 : 30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 13 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6 人	6 人	1 人	0 人	13 人

前回の改善計画	特に排泄に関することについての声掛けや職員間の会話に職員一人ひとりが意識することで利用者のプライバシーを守っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	トイレ誘導の声掛けについては、周りの利用者に聞こえないように配慮しながら声掛けをするように意識しているが、職員間での会話（情報共有時）で配慮に欠ける事がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	11	2	0	0	13
②	虐待は行われていない	12	1	0	0	13
③	プライバシーが守られている	8	5	0	0	13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	7	0	4	13
⑤	適正な個人情報の管理ができています	10	3	0	0	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束や虐待防止については事業所内で研修を行っているし、実際に身体拘束や虐待は行われていない。 ・個人情報保護についても研修等で理解できておりしっかりと管理できていると思う。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・現在成年後見制度を利用している利用者もいるが、成年後見制度についての理解が十分にできていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・虐待に繋がりがかねない不適切なケアが事業所内で起こっていないか、職員会等を活用し振り返りを行う。 	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人砥部寿会	代表者	菅原 哲雄	法人・事業所の特徴	共に支え 共につくり 共に暮らす」という法人の理念のもと、令和2年10月に松山市鷹子町に開設した事業所です。利用者とその家族の生活スタイルに合わせ、「訪問」サービスを効果的に活用し、「通い」「宿泊」のサービスを柔軟に調整することで、安心して自宅での生活が継続できるよう職員一同、取り組んでいます。
事業所名	小規模多機能ホーム里山	管理者	上山 晃		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	0人	1人	1人	1人	13人	0人	20人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> サービスの質向上に向け、職員一人ひとりの専門性の向上と平行してチーム力強化を図りながら、働きやすい職場作りを目指す。 	<p>認知症リーダー研修を1名が受講し、BPSD 対応に不安を感じている職員に対して指導やアドバイスを行い、職員会議でも情報共有をしながら専門性の向上に努め、チームケアを意識することができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 具体的に計画が立てられており、色々な取り組みを事業所としてされているのが良くわかります。 職員間で情報を共有したり、意見を出し合っているのがわかりますので継続してもらいたい。 	<p>職員一人ひとりの専門性の向上とチーム力の強化を図りながら、サービスの質を上げ、地域から選ばれる事業所を目指す。</p>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 音や匂いに配慮し季節を感じる事ができる環境づくりを行う。 運営推進会議等で来所された際に、事業所内を見てもらい環境についての意見を頂く。 	<ul style="list-style-type: none"> 季節ごとに、利用者と一緒に貼り絵を作り、事業所内に展示した。 運営推進会議の参加者に事業所内を案内し雰囲気や環境をみてもらうことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 一度、事業所内を案内してもらったが、事業所の雰囲気や環境についてはわかりにくかった。 	<p>事業所の利用者、職員の雰囲気を感じてもらうために運営推進会議で事業所内を見てもらい、ご意見を頂く。(玄関から入って、地域交流室まで移動して頂き、事業所の雰囲気をみて頂く。)</p>
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 地域行事に利用者と共に参加し事業所の周知、広報を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> GH 里山と協力しながら、地域の夏祭りに出店したり、地方祭では獅子舞や御神輿にも来てもらい、事業所の周知を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の色々な行事は利用者も喜ばれると思うので参加させてほしい。 	<p>利用者及び事業所と地域の繋がりを感ずることができるよう、地域行事に積極的に参加する。</p>
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> 認知症カフェを継続して開催し、地域住民の認知症の理解促進、安心して過ごせる地域づくりを行う。 順番に職員が認知症カフェに参加し、地域との関係づくりに参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症カフェを開催し、地域の方々に認知症を理解して頂いたり、認知症の当事者や家族の相談機会を作ることができた。 職員が順番に認知症カフェに参加し、手伝いをしながら地域住民や関係者と接し事業所として取り組んでいる意識を持つ事ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症カフェは当事者やその家族、地域で興味のある方も参加されているので続けてもらいたい。 参加者も多くなってきており、地域の方に周知されてきているとは思いますが、認知症の当事者もおられるので、参加人数などについては検討が必要かもしれない。 	<p>地域住民の認知症の理解が進み、また認知症の当事者が落ち着いた雰囲気でも過ごすことができるカフェの開催を継続する。</p>
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> 順番に職員が運営推進会議に参加し、意見交換を行うと共に、事業所の活動や取り組みを発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> 業務の都合で、全職員が順番に参加することはできなかったが、参加した職員は参加者の意見を聞きながら、事業所の取り組みや活動を発信することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業所では事例報告や事例検討をしているところもあります。 業務の都合もあるとは思いますが、色々な職員さんの意見も聞いてみたい。 	<p>運営推進会議で、利用者支援の事例報告や事例検討を行いながら、地域との協体制作りを進める。</p>

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>・GH 里山と自主防災研修を実施すると共に、鷹子地区の医療機関、障がい者及び介護サービス事業所との合同防災訓練を継続する。</p>	<p>・今年度も、合同防災訓練を近隣の医療機関やサービス事業所と合同で行った。土砂災害を想定し、事業所から近隣の医療機関まで利用者を避難誘導し、起震車や煙体験、予防衣の着脱訓練を行い、防災意識を高める事ができた。</p>	<p>・近隣の事業所と合同で防災訓練をしている事を、他の事業所の運営推進会議でも話しをさせて頂いた。防災の事だけでなく、感染対策やサービス提供の面でも連携をしてもらいたい。</p>	<p>合同防災訓練を継続して行い、大雨等による土砂災害警報時の情報共有や対応が速やかに行える体制を整備する。</p>
----------------------------	--	--	--	--

